

植物管理室では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

水生植物の展示

大温室そばの南側スペースにて、キャンパス内に自生のものを中心にいろいろな水生植物を展示・栽培しています



水耕では湿地植物を、ポリ容器では水草を展示しています。ふだんなかなか接することのできないため池の世界をここでは、身近に見ることができます。

コウホネ類については、自生地株の保全を兼ねて、園内にて栽培管理を行っています。コウホネとベニオクラコウホネの雑種であるサイショウコウホネもあります。



東広島市のため池の水草は、ため池の埋め立て、改修、水質悪化、さらにはため池の放置などにより、減少したり、消滅したりしています。

生物バザールに参加



植物分類・生態学講座よりコケに詳しい学生も協力参加。

5月18日に広島県立教育センターにて、第20回教材生物バザールが行われ植物管理室からもムラサキツユクサ、オジギソウ、ワタ、ゼニゴケなど中学・高校での植物の観察に活用できる教材植物を提供しました。

生物バザールは、教育センター主催として、広島県における理科教育の充実を図るために毎年実施されており、たくさんの教材生物が提供されています。

花壇のチューリップ



昨年12月に教職員・学生ボランティアにて植えた中央図書館前花壇のチューリップが4月にきれいに咲き揃いました。

植物管理室では、年間を通して中央図書館前花壇の植え付け・管理を行っています。花の好きな方は、ぜひご参加お待ちしております。

栽培実習・野草茶編



今年も植物栽培入門講座の春コースがスタートしました。今回は、作業の合間に実習に参加した学生と園内の野草を採集して、野草茶作りにチャレンジしました。出来あがった12種類のお茶は、みんな試飲を行いました。やはり、カラス/エンドウ茶が一番人気でした。



園内で収穫した青ウメを使って、ウメシロツ制作を行いました。出来あがりを楽しみます。



付属幼稚園児の田植え



熱心に説明を聞く子どもたち

水田には、アカガエルのオタマジャクシやシュレーゲルアオガエルの卵、オオコオイムシ、小型のゲンゴロウなど多くの生き物がいました。

生態実験園の水田にて、付属幼稚園・年長組30名による田植えが5月16日に行われました。小雨の降る中、子どもたちは、植物学教室のお兄さんやお姉さんと一緒に楽しく田植えを行いました。夏の川遊び、秋の稲刈りに、また子どもたちが生態実験園にやってきます。



園内の樹木

ヒトツバタゴ *Chionathus retusus*



モクセイ科

日本では対馬、岐阜県東濃地方の木曽川周辺、愛知県に隔離分布。和名は小葉をもたない単葉であることから。別名：ナンジャモンジャ

園内の樹木

ツリガネカスラ *Bignonia caerulea*



ノウゼンカスラ科

北アメリカ東南部の湿気のある森林に自生するつる植物。花はラッパ型でカレーのようなスパイシーな香りがすることからカレーパインの愛称で呼ばれることも多い。



【お問い合わせ先】

広島大学理学研究科
植物管理室

TEL: 082-422-7111
(内線2842)

E-mail: tshioji@hiroshima-u.ac.jp